

Ⅰ	(1)	A ナイル川	B ユーフラテス川	C チグリス川	D インダス川
		E 黄河	(2) エジプト文明	(3) メソポタミア文明	(4) と (5) の写真は各1点。
	(4) インダス文明	写真 ア と カ	(5) 中国文明	写真 ウ と ケ	(6) エ
Ⅱ	(1)	① 都市国家(ポリス)	② 民主政治(デモクラチア)	③ 女性(女)	④ 奴隷
		⑤ アレクサンドロス	⑥ ヘレニズム文化	⑦ ローマ帝国	
	(2) イ	(3) カ	(4) ⑧ 黒海	⑨ 地中海	
Ⅲ	(1)	A 縄文土器	B 1万(10000)	C 磨製石器	D ドングリ(栗)
	(2) エ	(3) オ	(4) ア	(5) ア	
Ⅳ	(1)	ウ → イ → ア	(2) ウ → イ → ア	(3) ア → イ → ウ	
	(4) ウ → イ → ア	(5) ウ → イ → ア			
Ⅴ	① 青銅器	② 甲骨文字	③ 鉄		
	④ 孔子	⑤ 始皇帝	⑥ 万里の長城		
	⑦ 漢	⑧ シルクロード(絹の道)	⑨ 仏教		
Ⅵ	【採点基準】結論と理由の説明の筋道が通っていること。理由(根拠)の説明は次の論点について触れていること。論点1つにつき2点を加点する。採点法は加点法。誤字脱字は減点しない。複数の文章が矛盾する場合は、初めの文章のみ加点し後の文は0点。あいまいな記述は1点。次の論点以外でも、根拠や内容が正しく、筋道が通っていれば加点する。				
	① 結論を明確に具体的に説明していること。たとえば、㊦母親を説得して掃除山まで一緒に行く(柊ノ原に留まれば弱っている母親を死に追いやるだけだと指摘していること)。㊧一緒に柊ノ原にとどまる(家族全員が死ぬ可能性が高いことを記述しつつ、家族全員が生き残れる方法を説明すること)。㊨食料や燃料のたきぎを準備して母親だけを残して出発する(この場合は、弱っている母親を死に追いやる可能性が高まることを指摘していること)。など。				
	② 12,000年前は、未だ氷期であり、日陰になる土地の冬は凍りつく寒さだった。そのため、30kmの険しい山道を歩いて暖かい越冬地に移動することは生き延びる方法だったことと、残ると死の危険度が高まることを説明できている。				
	③ 縄文時代の人々の寿命は、5歳の人で平均31歳くらいだったことを説明し、あるいは、14歳くらいで親になり、子どもを育て、生活を支える一家の中心になっていたことを説明して、自分が親の立場で母親のことを考えることができている。たとえば、自分の幼い子どもたちを保護しつつ、年老いた母親と一緒に移動することが可能な方法を考えて説明している。				
	ただし、平均余命から個人の死期を推定できるものではない。したがって、31歳だから死期が近づいていると判断するのは、平均余命の誤った使用法であることに注意すること。なお、課題の子どもたちはすべて5歳までの幼児である。				
	④ 縄文時代の人々は子どもの頃から、生きるための知識や技術を、親や兄弟から学びながら、1年中ずっと家族一緒に暮らしていた。家族のつながりはとても強い。家族を失うことは自分の体の一部を失う以上の苦しみだったことをふまえている。				
	⑤ 縄文時代の人々は台地の上にむらを作って、互いに助けあいながら暮らしていたことをふまえて考えていること。				

第1学年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	合 計
資料活用	知識理解	思考判断	思考判断	知識理解	態度	
/24	/22	/16	/10	/18	/10	/100